

下水道機構の『新技術情報』 第77号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

風邪をひいてしまい、1日遅れのメルマガ配信となりました。風邪やインフルエンザなど流行っているようですので皆様もどうぞお気をつけください。今回のメルマガはラッキーセブンの第77号です。皆さまにラッキーな事がありますように♪

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第77号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・1/25(金)に新技術現場研修会を開催しました
- ・1/24(木)に横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、1/31(木)に 審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・大人のラジオ体操（総務部 Yさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・1/25(金)開催の新技術現場研修会の様子をお届けします！

■国からの情報

- ・1月25日付け下水道ホットインフォメーション

●1/25(金)に新技術現場研修会を開催しました

第61回新技術現場研修会を1月25日(金)に開催しました。今回の見学場所は、東京都下水道局が現在整備中の第二溜池幹線及び勝どき幹線です。この2つの幹線は、千代田区番町・港区赤坂・溜池地区などの浸水被害軽減及び皇居お堀や築地川など閉鎖性水域の水質改善、環状2号線道路予定内にある汐留ポンプ所の機能分散など大きく3つの目的があり、採用したH&Vシールド工法は、地下水圧約0.4MPaの高水圧下において、横2連のシールド（セグメント外径でφ8800mmとφ4000mmを離隔29

5 mmと超近接で施工し途中で分岐させるものです。東京都下水道局の秋山課長、間・大豊・安藤建設JVの滝沢さんから、それぞれ、全体事業概要と工法概要などを説明していただいた後、地下50mの立抗を降り、シールド坑内歩いて隅田川の直下を横断し対岸の築地の分岐地点まで見学しました。高水圧下かつ口径が大きく異なる超近接でのH&Vシールドを施工するに当たり採用した発進抗口部の2重エントランス、マシン間接合部の構造の工夫やレーザーを使った双方のマシン位置の計測管理などの説明を受け、最新のシールド工法についての知見を深めることができました。また、関連して当機構が実施した第二溜池幹線に流入する枝線人孔（約45mの5連の高落差工）の水理模型実験についてもご紹介いたしました。

当日の様子はまる子の結まーるでもご紹介しています。

→ [http://www.jiwet.jp/mailmaga\\_yuimaru/staff-info/school-01\\_061.pdf](http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/school-01_061.pdf)

●1/24日（木）に「平成24年度 第3回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会」（最終回）を開催しました

下水道機構では、数値解析シミュレーションを用いた下水処理場等の津波対策について、横須賀市と2カ年にわたって共同研究を行ってきました（H23～24年度）。下水処理場等の津波対策で今後想定すべき最大クラス津波は、あらゆる可能性を想定した発生確率がきわめて小さいものであり、地方自治体の厳しい財政状況を踏まえると、効率的な対策が求められます。

そこで、数値解析シミュレーションによる信頼度の高い被害予測や対策効果の確認を行っており、これらの手法の妥当性に関して、科学的、実務的な審議を行って頂くために検討委員会を設置しております。

当日は、委員長である防衛大学の藤間教授より、「本検討委員会は横須賀市の津波対策が基本となるが、数値解析シミュレーションを用いた下水処理場等の津波対策立案手法を横須賀市から全国に展開していけるような議論をしたい」という挨拶で最終委員会が始まりました。

最終委員会では、「横須賀市下水処理場・ポンプ場の耐津波対策基本計画」について、一般的な手法による耐津波対策の考え方に加え、津波による被害が大きいと想定されるケースでの数値解析シミュレーションを用いた耐津波対策の考え方等が議論され、概ね了承されました。また、「流出解析モデルの適用性」については、下水道業界で用いられている流出解析モデルの下水管遡上など津波解析への適用性が議論され、概ね適用性を有するという事でも了承されました。

今後、本検討委員会での成果が、下水処理場等での津波被害想定や対策検討に活用されるよう普及促進に努めてまいります。（概要は今後ホームページに掲載予定です。また、ご相談は、研究第一部まで。）

---

。 。 ○ 。

機構の動き （機構の行事予定です）

。 。 ○ 。

◎1/31(木) 平成24年度第2回 審査証明委員会

場所：下水道機構8階 特別会議室

- 1/16(水)～2/1(金) 下水汚泥エネルギー化の好事例説明会

※詳細はこちら→ <http://www.jiwet.jp/pdf/gesuiodei-energy.pdf>

- 2/8(金) 新技術研究発表会【大阪会場】

2/15(金) 新技術研究発表会【東京会場】

※参加お申し込みはこちら→ [http://www.jiwet.jp/school/school-04\\_018.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm)

- 2/13(木) 平成 24 年度第 3 回 管路技術共同研究委員会

- 2/19(火) 平成 24 年度第 3 回 津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

- 2/21(木) 平成 24 年度第 3 回 汚泥処理技術共同研究委員会

- 2/28(木) 平成 24 年度第 3 回 水処理新技術実用化評価委員会

---

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

- 大人のラジオ体操 (総務部 Y さんからの投稿です)

少し前になりますが「大人のラジオ体操」が話題になりました。

「大人だからこそラジオ体操を行うことで肩こりや腰痛が改善したり、くびれやヒップアップなど美しいボディラインづくりにも役に立つのです！」などというのです。

ラジオ体操といえば、小学生の頃、夏休みの朝ダラダラ・・・という思い出しかありませんでした。

常日頃からダイエットをしようと思っているのですが、長続きしない私でもこれなら続けられると思い、NHK「テレビ体操」を録画し、毎朝始めました。

動きを意識してしっかりやるのがポイントだそうなので、その通りにやってみたら、翌日筋肉痛になっていました。

これはと思いしばらく続けていたのですが、気づけばまた・・・。(10分もないのに・・・)

私ごとですが、春に結婚式を挙げることになりました。

少しでも綺麗にドレスが着られるように、また始めようと思います。

今度は、続くかな・・・。

---

。○。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

。○。

- 1/25(金)に新技術現場研修会を開催しました！今回の見学場所は、東京都下水道局が現



で、お知らせいたします。

発展を続けるインドネシアについては、昨年10月に「ジャカルタ首都圏投資促進特別地域マスタープラン（MPAマスタープラン）」が日本、インドネシアの両国において承認され、両国の協力はますます重要になってきています。

本セミナーでは、我が国の道路及び下水道分野における建設技術のうち、インドネシアにおいてニーズがあり役立つと考えられる技術や経験を紹介するとともに、インドネシアにおけるインフラ整備の現状や取り組みについて情報交換を行い、両国の建設分野における協力関係を一層強化してまいります。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07\\_hh\\_000229.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000229.html)

●地震・津波に伴う水害対策に関する整備計画の策定について【東京都】

東京都下水道局は、東日本大震災を踏まえた今後の地震・津波対策について検討を行い、平成24年12月に区部の下水道施設を対象とした「下水道施設の地震・津波対策整備計画」を策定しました。

この整備計画は、同年8月公表された東京都の「地震・津波に伴う水害対策に関する都の基本方針」に基づき策定されたもので、水再生センターやポンプ所の耐震対策、耐水対策並びに高潮防潮扉の遠方制御による自動化などの対策を実施することとしています。

詳しくは東京都下水道局のホームページをご覧ください。

<http://www.gesui.metro.tokyo.jp/oshi/inf0680.htm>

●「放射能汚染汚泥の処理等関連技術・製品」の掲載について

【NP021世紀水倶楽部】

東日本大震災の原発事故では下水汚泥等も放射能汚染されましたが、一部の汚染汚泥はいまだ行き場がなく一時的に保管状態が続いています。NP021世紀水倶楽部では、放射能汚染汚泥等の処理、除染、保管等に関連する実用化された、あるいは実用化段階の技術・製品を紹介することで、汚染対策に取り組んでいる地方公共団体等に役立つ情報を提供するものです。詳細は下記URLの「放射能汚染汚泥の処理等関連技術・製品掲載事業」のページをご覧ください。

<http://www.21water.jp/>

●北陸初の小水力発電施設が完成しました！【富山県】

高岡市の小矢部川流域下水道二上浄化センターに北陸初の小水力発電施設が完成しました。来月2月7日に竣工式を行い、発電を開始します。最大出力は10キロ・ワットで、年間発電量は一般家庭21戸分に当たる約8万キロ・ワット時。電力はすべて浄化センター内で使用します。

詳細は、下記をご覧ください(富山県知事定例記者会見 1月22日)。

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/toyama/news/20130122-0YT8T01695.htm>

※1月23日の読売新聞に掲載されました(下記)。

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/toyama/news/20130122-0YT8T01695.htm>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■下水道新技術研究発表会の開催について【下水道機構】

(2月8日：大阪、2月15日：東京開催)

[http://www.jiwet.jp/school/school-04\\_018.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm)

→1月18日掲載

■第18回「下水道循環のみち研究会」セミナーの開催について

【日本下水道施設業協会】

(2月18日開催)

<http://www.siset.or.jp/>

→1月10日掲載

■下水汚泥エネルギー化の好事例説明会の開催について

【下水道企画課・下水道機構】

(1月16日～2月1日開催：開催地により異なる)

<http://www.jiwet.jp/pdf/gesuiodei-energy.pdf>

→12月14日掲載

=====

【参考情報】

◆京大、水と油を容易に分離－高疎水性の多孔性物質 <1/18 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0520130118eaa0.html>

◆堀川：清流戻したい 高年大メンバー水質調査10年 活動結果を展示発表 名古屋で22日から /愛知 <1/20 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/aichi/news/20130120ddlk23040067000c.html>

◆県：インフラ老朽化対策、10カ年計画策定へ 全国初、18種類の施設対象 /兵庫 <1/22 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/hyogo/news/20130122ddlk28010340000c.html>

◆内水ハザードマップ：大雨の浸水地域示す 避難ルート確認に 平塚市が作成 /神奈川 <1/23 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kanagawa/news/20130123ddlk14040260000c.html>

◆廃棄瓦で液状化対策 破碎物埋設 官民一体実用目指す 愛知 <1/23 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aichi/news/20130122-0YT8T01579.htm>

◆研究の現場から：排水中有害物質除去法の研究 /四国 <1/23 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kochi/news/20130123ddlk39040591000c.html>

◆津波浸水予測の表示アプリ 茅ヶ崎市が共同開発 <1/24 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/homeguide/news/20130124-0YT8T00292.htm>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

---

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>

---